

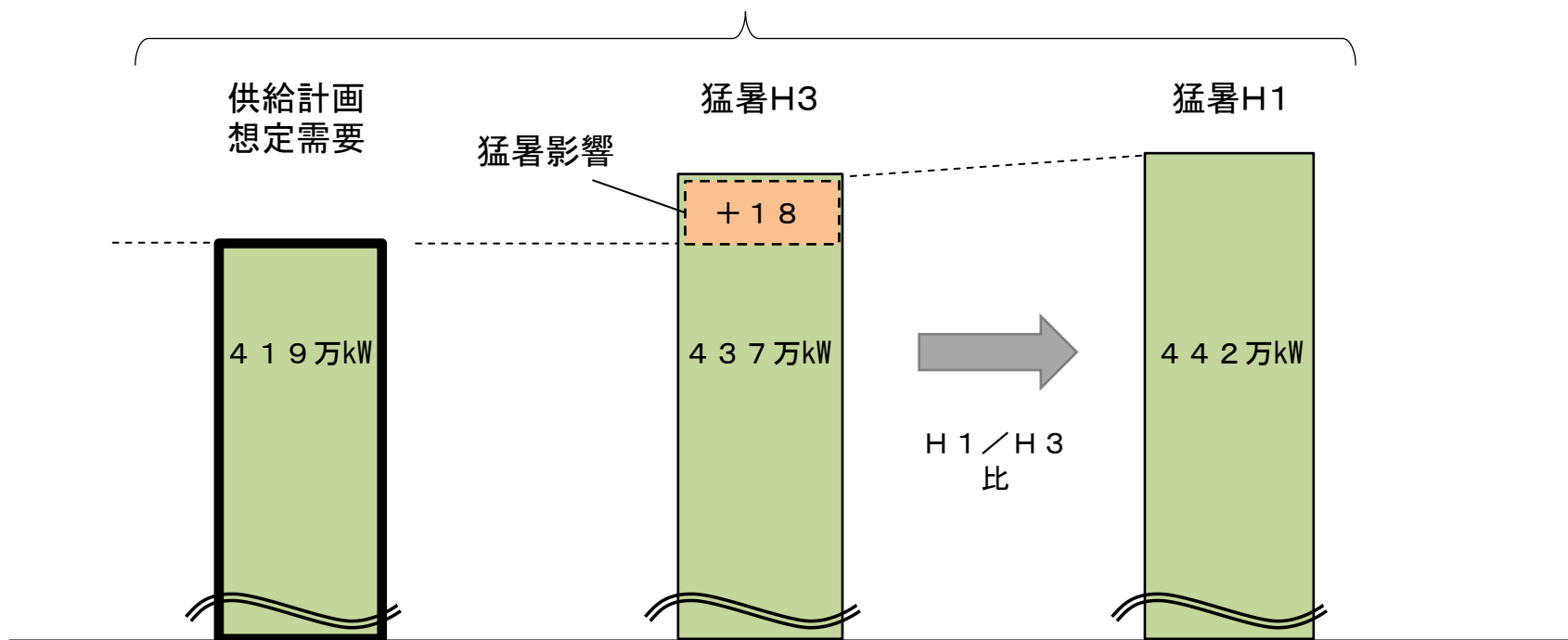
北海道エリアにおける 2018年度夏季の 電力需給見通しについて

2018年4月12日
北海道電力株式会社

2018年度夏季の需要見通し

- 2018年度夏季（7月～9月、以下今夏）の需要見通しについては、供給計画における月ごとの需要想定値に過去10カ年で最も猛暑であった年（2010年度）の気象影響を織り込み、猛暑時の1日最大電力（H1）を442万kW（8月）と想定しました。

今夏の最大電力見通し



■ 今夏の需給見通し

- ・ 今夏の月ごとの需給見通しは、下表のとおりです。
- ・ 供給予備率が最も低い7月は、猛暑時の1日最大電力（H1）442万kWに対し、供給力496万kW、供給予備力54万kW、供給予備率12.2%となります。
- ・ 今夏においては、電力の安定供給に最低限必要な供給予備率である3%以上を確保できる見通しとなりました。

今夏の見通し

	7月	8月	9月
猛暑時の1日最大電力(H1)[万kW]	442	442	428
供給力 [万kW]	496 (510)	519 (534)	517 (531)
供給予備力 [万kW]	54 (68)	78 (92)	88 (103)
供給予備率 [%]	12.2 (15.5)	17.6 (20.8)	20.7 (24.0)

※供給力、供給予備力、供給予備率の2段書きは以下のとおり。

上段：北海道から本州方面へのエリア間取引などを含めて評価したもの

下段：エリア間取引などを考慮する前の北海道エリア内の事業者の供給力のみ積み上げて評価したもの（参考値）

※四捨五入の関係で計算が合わない場合があります。

■ 省エネ・節電に関する取り組み

- ・お客さまに引き続き省エネ・節電にご協力いただけるよう、今夏もさまざまな取り組みを行う予定です。

項目	今夏の取り組み
でんき予報	ホームページに掲載
ホームページ	動画等により具体的な節電方法等について紹介
垂れ幕・横断幕	掲示可能な7事業所に掲示
パンフレット	家庭向け、事業者向けに用意
検針票によるPR	3か月（7月～9月）
最適アンペアチェック	当社ホームページに掲載
需給ひっ迫メール	引き続き、需給ひっ迫時に予め登録いただいたメールアドレスに緊急の節電をお願いする。

■ まとめ

- ・今夏の北海道エリアの需給見通しは、供給予備率が最も低い7月で、最大電力442万kW、供給力496万kWとなりました。この結果、供給力と最大電力の差である供給予備力は54万kW、供給予備率にして12.2%となり、電力の安定供給に最低限必要な供給予備率である3%以上を確保できる見通しとなりました。
- ・当社は、今後もお客さまに安心して電気をお使いいただけるよう、発電設備の点検・補修の実施に加え、発電設備や連系する送電線の保守・点検体制の強化に努めてまいります。
- ・また、当社は、北海道における電力供給を万全なものにするため、泊発電所の早期再稼働に向け、総力を挙げて取り組んでまいります。
- ・お客さまにおかれましては、引き続き、無理のない範囲での節電にご協力いただきますよう、お願いいたします。